

トルコ共和国地震被害に対する 国際消防救助隊の派遣について（第3報）

令和5年2月9日（木）8:00 現在
消 防 庁 参 事 官 室
※下線部は前回からの変更箇所

1 地震の概要

- （1）発生日時 令和5年2月6日（月） 10時17分頃
（現地時間2月6日（月）4時17分頃 ※日本との時差：－6時間）
- （2）震源地 Gaziantep ili Nurdağı（ガズィアンテプ県ヌルダウ）
※首都アンカラの南東約600kmに位置（北緯37.2度、東経37.0度）
- （3）震源の深さ 17.9 km
- （4）地震の規模 マグニチュード7.8

2 被害状況

首都アンカラから約600km離れた都市ヌルダウを震源とし、その周辺の複数の地域で被害が発生。死者・負傷者は多数に上る模様。今後、被害状況が明らかになるにつれ、更に被害の拡大が予想される。

3 派遣期間及び派遣先

令和5年2月6日（月）～ トルコ共和国

4 派遣の状況

- （1）先遣隊（第1陣）
2月6日、22時50分羽田発のイスタンブール行で、先遣隊として、消防庁1名及び東京消防庁4名を派遣
※先遣隊18名（外務省1名、消防5名、警察3名、海上保安庁3名、医療班2名、構造評価1名、JICA3名）
- （2）第2陣
2月7日、22時50分羽田発イスタンブール行で、東京消防庁2名、福岡市消防局3名、広島市消防局3名、茨城西南広域消防本部1名、徳島市消防局1名、上越地域消防事務組合1名、宮崎市消防局1名を派遣

※先遣隊（18名）と第2陣（55名）を合わせ、計73名を派遣

（消防17名・警察23名（救助16名、救助犬ハンドラー5名、通信隊員2名）・海上保安庁14名・外務省1名・JICA11名、医療関係者5名、構造評価専門家2名）

5 派遣隊の現地活動状況（以下、トルコ時刻） ※日本との時差 － 6 時間

○ 2 月 7 日

（先遣隊）

- 7 時 03 分 イスタンブール空港に到着。
- 9 時 40 分 イスタンブール発カイセリ行に搭乗。
- 12 時 00 分 カイセリに到着。
- 12 時 15 分 トルコ災害緊急事態対策庁との協議の結果、活動拠点をカフラマンマラシュと決定。
- 15 時 00 分 陸路でカフラマンマラシュに移動。
- 20 時 30 分 カフラマンマラシュに到着。カフラマンマラシュ市内の倒壊した 9 階建てアパートを捜索救助現場と特定。
- 21 時 40 分 現場到着。捜索救助活動実施
- 23 時 43 分～ 2 名の要救助者を発見し、救助。（2 名とも死亡確認）

○ 2 月 8 日

（先遣隊）

- 8 時 00 分頃 昨日から続けている倒壊建物現場での捜索救助活動を終了し、市内状況を確認し、生存者がいる可能性のある建物を確認。
- 10 時 00 分～ 同現場で捜索救助活動開始。

（第 2 陣）

- 7 時 43 分 イスタンブール空港に到着。
- 10 時 45 分 イスタンブール発カイセリ行に搭乗（53 名）。2 名は、資機材輸送の対応のため、別行動。
- 12 時 00 分 カイセリに到着。
- 13 時 27 分 陸路でカフラマンマラシュへ移動。
- 20 時 00 分頃 カフラマンマラシュに到着。
- 20 時 10 分～ 先遣隊活動現場と近接する現場で捜索救助活動開始。

6 消防庁の対応

令和 5 年 2 月 6 日 18 時 50 分 参事官を長とする消防庁災害対策室を設置（第 1 次応急体制）

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付
廣田、長谷、新井
TEL 03-5253-7507（直通）